

Ⅲ 学校運営協議会 令和3年度の記録

(様式第4号)

学校運営協議会 会議概要

1	会議名	第1回 学校運営協議会
2	日時	令和3年4月9日 午後5時45分から午後6時45分まで
3	会場	浦里小学校 音楽室
4	出席者	井澤良夫会長、田村実英副会長、安齋理江委員、橋元宣明委員 堀内重光委員、坂口善行委員、羽賀杏子委員、堀内寛子委員
5	市側出席者	峯村秀則教育長、緑川文明学校教育課課長、加々井道男学校教育担当係長
6	公開・非公開等の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 一部公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開
7	傍聴者	なし
8	会議概要作成年月日	令和3年4月12日

協議事項等

<進行：学校長>

1 開 会

2 教育長挨拶

本日は浦里小学校コミュニティスクール運営協議会委員委嘱式並びに第1回協議会にお呼びいただき、誠にありがとうございます。

昨年度はこれまで誰も経験したことのない新型コロナウイルス感染症により、世界中が大混乱になりました。また3月から5月まで学校が一斉休校になりまして、家の中に閉じこまざるを得ない状況でした。地域の皆様には学校の状況をご理解いただき、子どもたちが学校に不在の間、野菜作りや種まきをしてくださったと聞いています。学校が再開された後も、子どもたちにとって楽しい学校行事も思うように実施できないものもございました。さらには、感染防止対策により子どもたちには日々窮屈な生活を強いることになってしまい、本当に気の毒でありました。しかし、このようなコロナ禍の中にあっても、地域の皆さんには児童の登校時の見守り、学校評価の集計、通知の配布、記録、米や野菜作り、りんごの収穫、校庭の整備、庭木の手入れ、教科支援、読み聞かせ、クラブ活動の支援、マラソン大会等々、子どもたちに常に寄り添って支えていただきました。令和2年度を振り返ってみても、新型コロナウイルスが心配された中であって、延べ2400人も地域のボランティアの皆さんにご協力いただきました。厳しい状況の中にあっても、本気になって浦里小学校の子どもたちを育てていただきました。

さて、浦里小学校コミュニティスクール学校運営協議会は上田市で初めて設置された協議会ですが、今年度で11年目を迎えられました。これまでの10年間、大勢の地域の皆様、保護者の皆様、お助け隊の皆様等、ボランティアの皆様のご支援によりまして、この浦里小学校を盛り上げていただき、心から感謝申し上げます。浦里小学校への地域の方々のご支援の活動につきましては、3月にお送りいただいた学校運営協議会活動報告書を拝見しました。お助け隊等活動状況一覧表にはたくさんの支援活動の項目がありまして、その幅の広さと内容の豊富さに、他の小学校にはない素晴らしさを改めて感じました。ボランティアの方々の英語、算数、国語、習字、音楽等の教科指導や、個別指導の回数も大変多く、学校職員と一緒に学力向上に取り組んでおられます。その他にも、挨拶運動、メディアコントロールの日、校舎を大切にする日、子育て委員会だよりについても、地域の方々が一体となって浦里小学校をご支援いただいている具体を拝見いたしました。さらに毎年行われているふるさと学習については大変充実した学習であることや、その発表会の素晴らしいことを上田有線ケーブルの番組でも紹介されていました。ふるさと学習は、私もその重要性を強く感じ、以前に在籍

した学校でも実践しました。子どもたちが大人になって都会や外国で活躍する子どももいると思いますが、子どもたちが出会った大勢の人たちに自分のふるさとを語れる力があることは大変重要であります。コミュニケーション能力や語学も大事ですが、自分のふるさとを語れる人ほど国際的な人ではないかと思えます。今後のふるさと学習のさらなる充実に向けてご協力をいただきたいと思います。この後、委員の皆様へ委嘱を申し上げまして、これから1年間委員として学校運営に参画していただく訳ですが、学校職員と想いを一つにして「全てが子どもたちのために」の理念のもと、子どもたちの成長に尽力をいただければ幸いです。

結びに、令和3年度も昨年に引き続き、コロナ禍の中での新年度の出発となってしまいました。いつ収束するとも言えない厳しい状況が続きますが、皆様には浦里小学校に変わらぬご支援を賜りますとともに、委員の皆様の益々のご健勝をご祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。本年度もよろしく願いいたします。

3 学校運営協議委員委嘱

峯村教育長より各委員へ

4 学校運営協議会規約確認

学校長より説明

5 学校運営協議会委員の自己紹介

6 正副会長の互選

会長 井澤 良夫 委員

副会長 田村 実英 委員

<進行：学校長>

7 今後の日程の確認

学校長：年間6回計画している。主な内容については記載の通り。150周年記念については随時扱っていく。

委員：案については承認でよいか。

委員：よい。

委員：案の字を消してください。

<承認>

8 令和3年度 学校運営について

学校長：将来、子どもたちが主体的にもの・こと・人に関わる意欲と自立した逞しさの育成を行っていく必要があるということで、地域の方と力を合わせてやっていきたい。本年度の職員組織についてはご覧いただきたい。学校教育目標は「自分のよさを切り拓く子ども」である。自分のよさを自覚することが大切である。そのためにも教師、保護者、地域の手を携えて子どもたちを育てていく。その上で職員は子どもたちが少人数であることを生かして「関わる・認める・包みこむ」という視点をもって教育活動にあたっていきたい。さらに、学校教育目標に迫るための重点として「一人でも」を大

事にしていきたい。一人になっても自分の判断したことや任されたことをやり遂げることができる逞しさを育てていくことが大切であると考え、4つの具体目標を位置づけた。①進んで勉強しよう②思いやりのある人になろう③丈夫な心と体をつくろう④ふるさと「浦里」に学ぼうである。以上の内容がグランドデザインとしてまとめているので、ご覧いただきたい。

P10からは校務分掌や組織について記載してあるのでご覧いただきたい。

委員：150周年記念事業について、3月の学校運営協議会において1年延期すると引き継いでいるが、その予定でいいか。

委員：前回の学校運営協議会で令和5年度に行うと決定している。

委員：職員研修は何回ぐらい計画しているのか。

学校長：非違行為に関しては月に1回以上行ったり、職員会議の冒頭で学校長の話の中で扱ったりしている。外部講師による授業指導や指導主事の研修を予定している。

委員：新しい先生もお見えになったので、ぜひ地域研修も行っていただきたい。

学校長：新型コロナの状況を見ながら実施していきたい。

<承認>

9 コミュニティ・スクール実践目標

学校長：①広めよう！あいさつ運動 ②メディアとじょうずにつき合おう！です。①については見守り隊の方々のご協力をあり、主体的にできている。②については、メディアコントロールデー等でも取り組んでいきたい。

委員：眼科の先生から目に与えるメディアの影響が懸念されている。ぜひ、眼科の先生からご指導いただいて、子どもの目を守る学習をしていきたい。

<承認>

10 こまゆみ教室について

学校長：長野大学の学生とのこまゆみ教室を考えている。新型コロナの関係でどの程度のものでいいのかかわからないが、今後、提案していただきたいと思っている。窓口は学校長で行う。木彫りこまゆみ教室も行っていきたい。

<承認>

11 その他

委員：新型コロナでマスク着用となっている。マスク着用だと表情が伝わりにくい。常時、マスク着用となっているのか。

学校長：基本的にはマスク着用としている。これから熱中症との兼ね合いである条件下で外してもいいということも出てくるかもしれないが、安心ができる状況になるまではマスクは常時着用としていきたい。儀式的行事等、外せる場面があるかについては検討していきたい。

12 閉会の言葉

今回は、第2回7月13日（火） 開始時刻は午後5時45分